

第1回能登半島地震対応検証委員会議事録

日 時 令和6年7月29日（月）9：00～10：45

場 所 射水市本庁舎 301 会議室

出席委員 9名（10名中）

次 第

1 開会

2 市長あいさつ（省略）

3 議事

【委員長】

「（1）令和6年能登半島地震の概要」、「（2）市内の被害状況」、「（3）市の対応等」について説明を求める。

【事務局】

説明

【委員長】

事務局からの説明について、ご意見、ご質問はないか。

【委 員】

資料7ページ 避難者数のカウント方法について教えていただきたい。

【事務局】

職員の目視等で把握できた最大人数である。

【委 員】

資料13ページ 避難所等での救急要請6件の症状や具合について教えていただきたい。

【事務局】

避難所等での救急要請は、転倒や気分が悪い等、軽症の症状である。

【委 員】

資料9ページ 射水市から報道機関へ第1報が届いたのは21時半頃であり、もう少し情報があればよかった。

【事務局】

市民からの問い合わせ対応に追われ、情報をまとめることが困難であった。

【委員長】

「（4）検証 検証項目①住民の避難行動」について説明を求める。

【事務局】

説明

【委員長】

事務局からの説明について、ご意見、ご質問はないか。

【委員】

今回の地震は、石川県の能登半島の地震であり、射水市として備えるべき地震はこれよりもひどいということを忘れずに検証していただきたい。呉羽山断層であれば、家屋倒壊や液状化はさらに酷く、富山湾内での地震であれば、津波も今回よりも早く大きいものが来る。

市民が津波警報の発表で速やかに避難されたことは、評価できる。ただ、車の避難により発生した渋滞については検証しなければならない。

看板の設置、増設については、津波の到達時間が早いことを強調していただきたい。

ペットや要配慮者を車でどう避難させるか等、車を使った実行性のある訓練を検討しても良いのではないか。

【委員】

地域防災計画の修正と地区防災計画の整合、進め方について、どのように考えているか。

施設の開錠において、震度を感知して開く鍵の箱を設置するのみでは不十分で、鍵が空いた後、どのように施設を使用するのか等を定めておく必要がある。

【事務局】

地区防災計画は、地域が主体となってまとめるものであり、まち歩き点検をして危険場所を把握するといったことからでも取り掛かることができる。

また、実情に応じて付け加えたり更新したりできるため、地域防災計画の見直しを待たずとも取り組みを進めていっていただきたい。

【委員】

地区防災計画の策定が進まない要員として、住民の防災意識が希薄であることが考えられる。しかし、この地震で機運は高まっているのではないか。

【委員】

地区防災計画の策定に向けて、住民が計画の必要性を認識してもらうことが大事である。

また、車により渋滞が発生したことから、市民への情報発信方法等については検証する必要がある。

【委員長】

「(4) 検証 検証項目②避難所開設・運営」について説明を求める。

【事務局】

説明

【委員長】

事務局からの説明について、ご意見、ご質問はないか。

【委員】

防災訓練の中で、避難所運営の方法、備蓄品の場所等を共有する必要がある。

また、避難所の運営に携わるスタッフの教育が必要ではないか。

【委員長】

「(4) 検証 検証項目③災害対策本部の運営、検証項目④関係機関との連携、受援体制」

について説明を求める。

【事務局】

説明

【委員長】

事務局からの説明について、ご意見、ご質問はないか。

【委員】

災害時の要配慮者に対する課題・問題点及び対策について記述が少なく感じた。

【事務局】

要配慮者については、今後資料に加えたい。

【委員】

要配慮者の対応や物資の供給などどこまで要望に応えるのか、判断が難しい。

【委員】

職員の参集メールに10%しか返信がなかったとあるが、問題ではないか。

【事務局】

これは返信が10%であり、職員は安否確認メールをする前に現場に来ていた。少しパニックになってたのか、メールでの確認は約10%しかなかったということである。

【委員長】

その他で事務局から何かないか。

【事務局】

今後のスケジュールについて説明

4 閉会

【委員長】

それでは、これで第1回能登半島地震対応検証委員会を終了する。委員各位には熱心に審議いただき、深く感謝申し上げます。